



環境通信

Vol.1

発行日：平成 15 年(2003 年)12 月 8 日

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (56)3999



「城陽環境パートナーシップ会議」が、去る 10 月 25 日に発足しました。この会議は、市・市民・市民団体・事業者の協力・協働による、城陽市環境基本計画の推進に向けた情報交換・交流の場となるものです。創刊号では、設立総会の内容や、平成 15 年度の事業計画・予算などについてお知らせします。

設立総会を開催しました

南部コミュニティセンターで開催された設立総会には、会員約 100 人が参加。

オープニングとして、市の広報ビデオ「城陽・四季の彩り」を鑑賞、発起人代表の挨拶、来賓として出席された市長・市議会議長の祝辞と進み、その後、議事に入りました。

総会では、「会議規約案」「役員案」「平成 15 年度事業計画案」「平成 15 年度収支予算案」の 4 議案が審議されましたが、いずれも原案どおり承認されました。

総会の後、京都教育大学の広木正紀教授が、「日常生活や身近な自然から、環境へと広がる目を」と題して基調講演。そして、最後に、「環境を守り育てる市民の誓い」の宣誓文を参加者全員で読み上げ、環境保全に向けた決意を新たにしました。

お気軽にご参加ください

環境の保全等に向けた取り組みには、市内に住み働くすべての人々の参加が必要です。

城陽環境パートナーシップ会議では、河川の観察や生き物調査、花いっぱい運動、環境家計簿の作成など、身近にできることから取り組みを進めます。また、その際には、分野別の部会を設置して会員の皆さんの参画を呼びかけてまいります。(4 面に関連記事)

環境問題について、一緒に考え、そして行動してみませんか。楽しく活動の輪を広げましょう。多数のご参加をお待ちしております。

ごあいさつ



会長 澤田 哲

今、地球規模の環境悪化が問題となっていますが、環境づくりは、身近にできることから、こつこつ続けることが大切です。

城陽環境パートナーシップ会議が中心となって、日々の生活の中で、継続してできる活動に取り組み、緑豊かなまちづくりを進めてまいり所存でございますので、会員の皆様のご協力と積極的なご参加をお願いいたします。

環境を守り育てる市民の誓い

私たちのまち城陽は、京都と奈良の中間に位置し、緑あふれる山、豊かな水、これら自然の恵みを受け、さまざまな歴史と文化を形づくってきました。

私たちは、多くの先人たちの努力により守られてきたこの貴重な財産を、より良い形で将来の世代に引き継いでいかなければなりません。

そのためには、今、環境の問題を正しく認識し、何をすれば良いかを考え、身近なことから行動することが大切です。

そこで、私たちは、城陽市環境基本条例に基づき、市、市民、市民団体、事業者のパートナーシップにより、みんなで力を合わせて、良好な環境を守り育てることを誓います。

平成15年10月25日

城陽環境パートナーシップ会議



平成15年度事業計画

| 環境ビジョン | 平成15年度の実施内容 |
|--------|--|
| 生活 | 身近な河川に関する学習 身近な河川の観察 |
| 自然 | 身近な動植物に関する学習 身近な自然の観察 |
| 快適 | 家庭での緑化（生け垣・花壇等）に関する学習と啓発 身近な街路等の現状に関する学習 |
| 循環 | 生ごみ処理機に関する学習と啓発 太陽光・風力発電（家庭用）に関する学習 |
| 参加 | 環境井戸端会議の開催 環境パートナーシップ会議の会報発行 環境パートナーシップ募金の実施 |
| 地球環境 | 環境家計簿に関する学習 環境家計簿の作成と啓発 |

平成15年度収支予算

収入の部

単位(円)

| 項目 | 本年度予算額 | 摘要 |
|------|---------|--------------------|
| 1 会費 | 300,000 | 賛助会費 @20,000円×15会員 |
| 合計 | 300,000 | |

支出の部

単位(円)

| 項目 | 本年度予算額 | 摘要 |
|---------|---------|---|
| 1 事業費 | 190,000 | 環境学習会の開催 生ごみ処理機に関する学習と啓発 環境井戸端会議の開催 環境パートナーシップ募金の実施 環境家計簿の作成と啓発 |
| 2 広報費 | 65,000 | 会報の発行 |
| 3 調査研究費 | 11,000 | 書籍等購入 |
| 4 事務費 | 21,000 | 事務連絡旅費 事務消耗品 |
| 5 予備費 | 13,000 | |
| 合計 | 300,000 | |

城陽環境パートナーシップ会議役員

| |
|---|
| <p>会 長：澤田 哲 副 会 長：牧田繁雄 監 事：竹内 康 運営委員：浅野 登、芦原 昇、上野さや子、大野和宣、大原茂夫、岡村倫子、奥田敏晴、奥田龍之介、辛川千重、北川美智子、久保勝文、斎藤勝英、佐藤博司、谷 知江、玉井種一、辻 文明、富沢 護、長野哲朗、新川達郎、西村清次、服部和子、林 俊雄、松本邦彦、森 均、山岡治作、米田由紀子(五十音順)</p> <p style="text-align: right;">役員任期は2年です</p> |
|---|

環境ミニ辞典

Q：「環境家計簿」って何ですか？

A：各家庭の電力・燃料・水の使用量やゴミの排出量を月毎にチェックし、その数値を二酸化炭素の排出量に換算して、全国平均値との比較により、自らの生活が地球温暖化にどれだけの負荷を与えているかを見るものです。

部会に参加しませんか

～事業計画の具体化作業を行います～

生活・自然部会

河川や動植物に関する学習会・観察会の開催
家庭での緑化に関する学習と啓発
身近な街路等の現状に関する学習 など

循環・地球環境部会

生ごみ処理機に関する学習と啓発
太陽光・風力発電（家庭用）に関する学習
環境家計簿の作成と啓発、会報の発行 など

開催日時：いずれも毎月第1・第3木曜日の午後7時～9時（変更の場合あり）

開催場所：市役所内会議室（変更の場合あり）

申し込み：参加を希望される方は、事務局（環境企画課）までご連絡ください。

入会のご案内

会員の区分

- ・個人会員＝市民、市内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員＝市内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

会費

- ・個人会員・団体会員については無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口20,000円の会費を募ります。

入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

お問い合わせ

城陽環境パートナーシップ会議事務局（城陽市環境企画課）

TEL（56）4061 FAX（56）3999

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

安藤光一、イズミヤ(株)大久保店、京都城陽ロータリークラブ、近畿砂利協同組合、京阪観光開発(株)東城陽ゴルフ倶楽部、サントリー食品工業(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽金融会、城陽市建設業協会、城陽市役所、城陽商工会議所、(社)城陽青年会議所、白鳥幼稚園、星和電機(株)、玉井開発、中西佳男、長池工業(株)、(株)長尾組、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、(株)富士産業開発社、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光、(株)山岡製作所

※平成15年11月末日現在（五十音順・敬称略）

～自然とともにみんなでつくる未来の城陽～